Rec. 3357-A

锁器都 文部第三三五七號

出

我國ニテ行ハルル方式ニ従ヒ、別茲記憶ノ如夕正 去二直管シタル上ない 次ノ記り賦塩シマス。 **表、近部秀国・野児部等子い趣記館数ロデアリット** 

ス。ソッテー九三〇年カラー九四〇年マデノ間私 八故原田龍男男爵ノ遠記者トッテ同氏ノ宇配ヲ逡

品ができるから

私へ国際役祭部ノ尉全官「こ、ひ、ラム・ 氏がラゾノ完成セラレタ記録ノ福賞復為ラー 宋子の子沙ダガマッと八 数ガ斌目身 小手云谷、面角 原田男は「回回はテアスコト」は、アスペートノー 此等沒才遊記少夕文部八私才日本文二情 哲少政 認

ノタノ原田男爵ニを出シタモノデアリマス。 原田男母ハソ白龍家ラ問臣少藏尾既京本人名意大 西國華受望公路人称為中人中少多的日

西園寺会/訂正及ビ/文ハ意見ハ伝上ゲ/睒ニ谷 年記にひきアリマスへラレス 混目者(方年 難シタモ

ほく夏の三波 3 回帯子管選士で、同様子領電士で、よ子上記ノ通り配配シタモノデアリマス。

(以下交直へ愆り)

Endiste Na. 120

際

Cast . wo

(日下以图〈蓝》)

何等そ附加セス、 **窓ノ良心ニ従ヒ何事モ祕匿セズ、** くれが出く思っ間ラッカルトトラトは、 金属質り彼べんコンク部トアストリー(の数日) 陸関帯 以入口に回ば カノスく 回れ くは 土 サイ語 川 部 東京二京子本一九四八年一月八日 別田思切べと 供送者と田田と 藤田 寒水子 一首者人 これとは田民徳川が四かのかとないこととは 獨為鎮多過得少以以前不發戶四行與川部 間少数 弱 名の、ようの中国「アメドアー」の、ライトード」

(上記く供述 客ニョリ宣審サン同人ニ仮り余ノ間前 **与版を場合統印サレタモナデアルコトフ盟明スル** 

随《日原改聚器》目引为 L P 。 0.

東京二次子同日 《福禄日面部出版と四日治ナッチ目式と作用と割 A P 母調シー共同の計トレイ国的 テオドアー、の、ラムワース/昭名/ 我用獨印シャを引発すべく時の習得タレイの 機関リヤ化をもそろび中島の、単規関的マピタ関

对 · 数 数 · 物

心學與其似信用中因为自

## AFFIDAVIT

Having first duly sworn on oath as on the attached sheet, in accordance with the procedure prevailing in my country, I hereby depose as follows:

I. Yasuko KONOYE, wife of Hidemero KONOYE, am a teacher of shorthand, and during the period of 1930 to 1940, I, as his stenographer, took in shorthand the notes of the late Baron Kumao HARADA.

I have been shown by Mr. J. G. Lembert, IPS Investigator, a photostatic copy of this finished transcription which I recognize as the memoirs of Beron HARADA written by me in my own handwriting.

These notes taken by me in shorthand were transcribed in Japanese by me and given to Baron HARADA for approval.

Beron HARADA took the transcription to Prince Kimmochi SAIONJI for corrections and suggestions.

Prince SAIONJI's corrections end/or suggestions were incorporated in the completed form which I wrote in my own handwriting and which is identified as above.

## OATH

In accordance with my conscience I swear to tell the whole truth, withholding nothing and adding nothing.

(seal)

On this 8th day of January, 1948 at Tokyo

(Japanese Signature)

Deponent: Yasuko KONOYE

I, Theodore Q. Lemmers, 1st Lt., QMC, hereby certify that the above statement was sworn to by the deponent, who affixed her signature and seal thereto in the presence of this witness.



Dear. 3357-13

## . 真窗供池台

我国二行へレル方式二從ヒ、 別紙記むノ如う意 富ひ々ル上、私へ夫ノ温り以述致シャスゥ 每週一周乃至二四原田禄另另曾八赵、还行数于 《馬人草稿及今節衛 三日日記録/門西國寺、原田甸 近日以下不可能見なまゆうとできる。これ、正成と思 原田男の八大母在教者テアリマシア、仕意ラキ \*天为したな器 馬取イテハ木谷 資母アアリアシャガ、 他自己不住要の祖紀立て小部后於イズへ自動を分う 古本本をとないなるなるともてるでをンテンかっている 明《李母人祖陶朱版管医ヨリ三、四ヶ月門原田县祭 · 本病原用下以及以上,治法二次戶方原田與6,一分群 以及保存以密於不可不戶幸 二人除過二國 沙子乃及 分 祖文衛衛衛衛衛大百万七日を守る明日と行コンクを :《劉前後因古母母母日日日日十九日七年五月日十二 11日限商文股腦級問題不会長四日午日日午日日於原中小縣, - 祭 今唯一同二月二十三日二記改サレテ居りマス。 事ソダ元後原用人の元月三日にの元気ではソノ日 廣西心與強人行义於医り文大協語へ、且至十部入院

(以下交页)

(四) 上於 ()

月人灣リノ全期間酸ハ、東京ト彼ノ別 、人々万部間シヶ居 問叉往復以 4 區口電目于四日日 コノ期間及へ他人如何ナル期間は於ケル病気中と彼 (8) 八酸配錄子每半取子七九二十9上又少十少分 私人彼人精霊文人居問デソノ哲キ取りラ行ヒマシタ ソノ関彼人電話及じ訪客三位り子情報フ究祭致シャ 少年。如何十七場合三七木戸又八原田以外ノ者方該 記録、如何十ん部分ラ七行牛取りもカコトハアリッ セシャ晩年原田ガポンヤリシテキタトイン木戸ノ崠 は日於イデハで若シソレガ西國寺ノ死(彼)原田ノ ハグレ以後段記録了む十取りヲ中止シマシタのし、ト 彼ノ死ノ間ノエケ年間ヲ帯スセノデアリマシタラ、 私へメッタニ彼三會ヒマセシテシタカラ、意見ラ彼

> は近一回に出口可以回信はできなくは、当行さて できるよう。まったという「(以下)を)を(の)では、 数日日かくりもと対しあり、性質語のと言うな

> > 模容英質的

Dac. 3357 - 8.

CTER. 300%

den 3357 wer

**時間」於子モ、智前的二十分十記力ヲ特ッチ居リ難メマショ。彼へ、私ノ役ヲ知ッテキュ即同ナルがに二役等ノ語ショニトヲヨク幻ッテキタコトヲキルカノ後ニ、ボシャリトシナ外見ニモ杓ラス役罪力力記シテェル時、マルテ値ノコトテモ等(テカだニ、ソノ侵賦状態ノ即何ニ洵ラズ、時トッテ何けル時間ニ難シテモ、宣賞するな** 

な事ヲヨク記僧致ッテ居りゃス。 書牛取ヲセタ時、手ニッタ書いカラ副 ミ上ゲテキ九日八記母ニ記イテヘ、私へ、原田ガソレヲ私ニベイトがテ訟郎記認ヲ付サレタ、一九四〇年八月十月 東韓茲告ニ劉スル反劉弘問ノ於、安廷禮三六八

一块四尺字 一日十三日 姓司

(湯里)

K、樹稿観が引入ラルマピネカトKs

期 ( ) 域 方 用 線 3 、 店 費 4 等 型 4 名 、 店 等 研 製 無 4

ズ、全庭實ヲ述ベルコトヲ嘗ヒマス。及八私ノ良心ニ從ヒ、何事モ秘医セズ、何事モ附加セ

(総母)

快速者 近 潮 梁 子乀署名乀一九四八年一月十三日 於東京

余、歩兵大財死したし。もっまりてし、しに、世祖

於子署名、孫印セラレタモノデアルコトヲ諮明スル。八供滅者ニ依ツテ宜藩セラレ、同人ニ依 日余ノ面前ニ

4 2 6 9